

平成29年3月期 第2四半期決算説明会 データブック

平成28年11月17日
シダックス株式会社
(JASDAQ スタンダード : 4837)

平成29年3月期 第2四半期決算トピックス

I. 連結経営成績 [短信 サマリー及び【添付資料】2～3ページ記載]

わが国経済は、雇用・所得面において改善が見られ、緩やかな回復基調にあるものの、個人の消費マインドにおいては足踏み状態が続いております。また世界経済においては不透明感の状況に加え、円高進行による企業業績への影響など、景気の先行きは不透明な状況にあり、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような環境のもと、当社グループは、“フードサービスから公共サービスまで提供可能な水平垂直統合型の企業構造”で他社との差別化を図り、プレミアムブランド戦略による高品質・高付加価値のサービスを提供するとともに、より一層の「安心・安全」な管理体制の強化、グループ総合力を活かしたトータルアウトソーシングによる営業拡大に努めてまいりました。また、収益構造の抜本的改善の実現に向け、一部の不採算店舗については、撤退等を積極的に推進するとともに、本部管理コスト削減による間接費の圧縮に取り組み、経営意思決定の早期化と事務処理効率化を目的とした本社機能の統合を進めました。それにより渋谷シダックスビレッジの第三者宛の賃貸も決定いたしました。

■ 平成29年3月期 第2四半期連結決算ハイライト

(単位:百万円)

	平成28年3月期				平成29年3月期				平成29年3月期	
	第2四半期累計(実績)		通 期(実績)		第2四半期累計(実績)		PL前年同期比/BS前期末比		第2四半期累計(予想)	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率	期初予想	差額
売上高	80,234	100.0%	159,707	100.0%	75,110	100.0%	△ 5,124	△6.4%	75,200	△ 89
売上原価	72,237	90.0%	142,310	89.1%	67,018	89.2%	△ 5,219	△7.2%	—	—
売上総利益	7,997	10.0%	17,396	10.9%	8,091	10.8%	94	1.2%	—	—
販売費及び一般管理費	8,998	11.2%	18,168	11.4%	8,913	11.9%	△ 85	△0.9%	—	—
営業利益	△ 1,001	△1.2%	△ 771	△0.5%	△ 821	△1.1%	179	△17.9%	1,000	△ 1,821
営業外収益	498	0.6%	955	0.6%	441	0.6%	△ 57	△11.6%	—	—
営業外費用	714	0.9%	1,273	0.8%	3,026	4.0%	2,311	323.5%	—	—
経常利益	△ 1,217	△1.5%	△ 1,089	△0.7%	△ 3,406	△4.5%	△ 2,189	179.9%	200	△ 3,606
特別利益	136	0.2%	1,512	0.9%	0	0.0%	△ 136	△99.8%	—	—
特別損失	281	0.4%	3,764	2.4%	284	0.4%	3	1.3%	—	—
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	△ 1,402	△1.7%	△ 7,120	△4.5%	△ 3,459	△4.6%	△ 2,057	146.7%	△ 350	△ 3,109
総資産	85,774	—	74,379	—	71,856	—	△ 2,522	△3.4%	/	
純資産	17,722	—	11,445	—	6,547	—	△ 4,897	△42.8%		
自己資本	17,722	—	11,445	—	6,547	—	△ 4,897	△42.8%		
自己資本比率	20.7%	—	15.4%	—	9.1%	—	△6.3%	—		
ROE(自己資本当期利益率)	△6.4%	—	△37.9%	—	△38.5%	—	△0.6%	—		
ROA(総資産経常利益率)	△1.4%	—	△1.3%	—	△4.7%	—	△3.4%	—		

(注)【ROE】=親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益/自己資本合計(当年度(第2四半期)末・前年度末の平均値)×100(%)、【ROA】=経常利益/総資産合計(当年度(第2四半期)末・前年度末の平均値)×100(%)

【売上高】751.1億円(期初予想対比△0.1%)

□レストランカラオケ事業においては特に同業他社との低価格競争激化に加え猛暑や台風等による天候不順、オリンピック開催等の影響もあり、当初計画を下回ったものの、その他の事業セグメントにおいては、「トータルアウトソーシングサービス」による事業拡大と効率的な出退店施策により堅調に推移し、全体としては概ね計画通り。

【営業利益】△8億円(期初予想10億円)

□業績の回復が見込めない不採算店舗の早期撤退と早期黒字化に向けたコスト管理の徹底に注力したものの、原材料の高騰や慢性的な人手不足等による人件費、物流コスト高騰の影響などにより、グループ全体のコストが増加し、相対的に利益率の高いレストランカラオケ事業が前年同期比での営業利益改善を果たしたものの、当初営業利益計画には及ばず、全体としての当初営業利益計画を下回る。

【経常利益】△34億円(期初予想2億円)

【純利益】△34億円(期初予想△3.5億円)

□主に持分法適用関連会社において、事業の選択と集中により不採算店舗の撤退による収益構造を2年で再構築するという中期経営計画方針を1年半前倒しで実行し、平成29年3月期第2四半期で完了させたことにより、当初経常利益及び四半期純利益計画を大きく下回る。

II. セグメント別業績の増減説明

[短信【添付資料】2～3ページ及び13～14ページ記載]

■ セグメント別業績

(単位:百万円)

売上高	27年9月期	28年9月期	増減額	増減率
エスロジックス事業	20,752	20,246	△ 506	△2.4%
コントラクトフード事業	15,579	15,121	△ 457	△2.9%
メディカルフード事業	17,353	16,732	△ 621	△3.6%
レストランカラオケ事業	15,285	9,869	△ 5,416	△35.4%
コンビニエンス中食事業	7,379	7,299	△ 80	△1.1%
トータルアウトソーシング事業	20,379	20,921	542	2.7%
その他	5,100	4,467	△ 633	△12.4%
消去及び全社	△ 21,596	△ 19,547	2,049	9.5%
売上高 計	80,234	75,110	△ 5,124	△6.4%

(単位:百万円)

セグメント利益	27年9月期	利益率	28年9月期	利益率	増減額	増減率
エスロジックス事業	1,439	6.9%	1,336	6.6%	△ 102	△7.2%
コントラクトフード事業	841	5.4%	736	4.9%	△ 105	△12.5%
メディカルフード事業	462	2.7%	497	3.0%	34	7.5%
レストランカラオケ事業	△ 1,572	△10.3%	△ 894	△9.1%	678	43.1%
コンビニエンス中食事業	133	1.8%	140	1.9%	6	5.2%
トータルアウトソーシング事業	1,359	6.7%	774	3.7%	△ 585	△43.0%
その他	△ 552	△10.8%	△ 280	△6.3%	272	49.3%
消去及び全社 ≡HQコスト	△ 3,113	—	△ 3,132	—	△ 19	△0.6%
営業利益	△ 1,001	△1.2%	△ 821	△1.1%	179	17.9%

□ エスロジックス事業は、グループ外への食材・消耗品等の販売を強化し、外部売上が増加した一方で、不採算店舗撤退の影響により内部売上が減少したことにより売上高は202.4億円(前年同期比2.4%減)となりました。また、売上高の減少及び仕入価格の高騰等により、セグメント利益は13.3億円(前年同期比7.2%減)となりました。

□ コントラクトフードサービス事業は、不採算店舗の撤退等の影響により売上高は151.2億円(前年同期比2.9%減)となりました。また、売上高の減少等によりセグメント利益は7.3億円(前年同期比12.5%減)となりました。

□ メディカルフードサービス事業は、不採算店舗の撤退等の影響により売上高は167.3億円(前年同期比3.6%減)となりましたが、既存店舗の解約防止、赤字店舗の運営改善強化などによりセグメント利益は4.9億円(前年同期比7.5%増)となりました。

□ レストランカラオケ事業は、不採算店舗の抜本的改善を早期に実現すべく、平成28年3月31日付でシダックストラベラーズコミュニティー(株)が持分法適用関連会社へ移行したことにより、第1四半期連結累計期間より当該会社の売上高並びにセグメント利益はレストランカラオケ事業から除かれております。これにより売上高は98.6億円(前年同期比35.4%減)、セグメント損失は8.9億円(前年同四半期は15.7億円のセグメント損失)となりました。

□ コンビニエンス中食事業は、大手コンビニエンスストアや多業態からの攻勢などにより厳しい経営環境の中で、お客様の生活ニーズに応じた利便性向上・満足度向上の実現に取り組み、労務費及び廃棄の適正化等の経費効率運用を行い、既存店のブラッシュアップと赤字店舗の改善に努めた結果、売上高は72.9億円(前年同期比1.1%減)、セグメント利益は1.4億円(前年同期比5.2%増)となりました。

□ トータルアウトソーシング事業は、地方自治体においては財政再建と地域活性化へのニーズが高まっており、自治体が提供するサービスを民間に委託する流れが続いている一方で、民間企業においては、景気回復傾向にあるものの不透明な状況が続いており、なお一層のコスト削減が迫られている状況にあります。このような環境のもと、車両運行管理事業・社会サービス事業とも、現場でサービスにあたる社員の教育に力を入れ、お客様のニーズに応じた業務を適正な価格にて受託するように努めた結果、売上高は209.2億円(前年同期比2.7%増)、セグメント利益は7.7億円(前年同期比43.0%減)となりました。

Ⅲ. 連結貸借対照表の増減説明

[短信【添付資料】4ページ及び6～7ページ記載]

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	28年3月期	28年9月期	増減額
現金及び預金	11,135	13,596	2,461
売上債権	13,031	13,186	155
その他流動資産	6,834	5,960	△ 873
有形固定資産	24,244	22,407	△ 1,836
のれん	1,334	1,297	△ 37
敷金及び保証金	5,381	4,741	△ 640
その他固定資産・投資等	12,418	10,665	△ 1,753
資産計	74,379	71,856	△ 2,522

(単位:百万円)

	28年3月期	28年9月期	増減額
仕入債務	7,796	7,415	△ 380
借入金・社債(短期・長期)	33,050	36,398	3,348
リース債務(短期・長期)	2,434	1,542	△ 892
資産除去債務	2,371	2,089	△ 281
その他負債	17,282	17,863	581
負債計	62,934	65,309	2,374
純資産	11,445	6,547	△ 4,897
自己資本比率	15.4%	9.1%	△ 6.3%

□ 総資産は、前期末に比べ25.2億円減少し718.5億円(前期末比3.4%減)となりました。

主に、現金及び預金が24.6億円増加した一方で、減価償却等により有形固定資産が18.3億円及び固定資産や株式の売却代金の回収等によりその他流動資産が8.7億円、その他固定資産・投資等が17.5億円減少したことによります。

□ 負債は、前期末に比べ23.7億円増加し653.0億円(前期末比3.8%増)となりました。

主に、返済等によりリース債務が8.9億円減少した一方で、借入金・社債が33.4億円増加したことによります。

□ 純資産は、前期末に比べ48.9億円減少し65.4億円(前期末比42.8%減)となりました。

主に、親会社株主に帰属する四半期純損失34.5億円の計上と剰余金の配当5.8億円により利益剰余金が40.4億円減少したことによります。

以上の結果、当第2四半期末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ6.3ポイント低下し9.1%となりました

IV. 連結キャッシュ・フロー計算書の増減及び財政状態の説明

[短信【添付資料】4ページ及び10～11ページ記載]

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	27年9月期	28年9月期	増減額
営業活動キャッシュ・フロー	223	1,752	1,529
投資活動キャッシュ・フロー	808	△ 917	△ 1,725
財務活動キャッシュ・フロー	3,478	1,839	△ 1,639
換算差額	14	△ 28	△ 43
現金及び現金同等物の増減額	4,524	2,646	△ 1,878
現金及び現金同等物の期首残高	10,371	10,362	
現金及び現金同等物の期末残高	14,896	13,009	

□ 営業活動の結果得られた資金は17.5億円(前年同期は2.2億円の資金獲得)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純損失が36.9億円計上されたほか、和解金の支払額が2.2億円あった一方、減価償却費が16.7億円、減損損失が1.2億円、賞与引当金の増加額が9.2億円、持分法による投資損失が22.4億円、未収入金の減少額が2.2億円並びに未払金の増加額が2.7億円あったことによります。

□ 投資活動の結果使用した資金は9.1億円(前年同期は8.0億円の資金獲得)となりました。

これは主に、有形固定資産の売却による収入が6.6億円、過年度子会社株式売却代金の回収による収入が4.8億円並びに貸付金の回収による収入が1.3億円あった一方、有形固定資産の取得による支出が8.7億円並びに貸付による支出が13.7億円あったことによります。

□ 財務活動の結果得られた資金は18.3億円(前年同期は34.7億円の資金獲得)となりました。

これは主に、リース債務の返済による支出が6.5億円、長期借入金の返済による支出が53.7億円、社債の償還による支出が3.8億円並びに配当金の支払額が5.8億円あった一方、長期借入れによる収入が87.7億円並びにセール・アンド・割賦バックによる収入が4.0億円あったことによります。

以上の結果、当第2四半期末における「現金及び現金同等物」は、前期末に比べ26.4億円増加し130.0億円(前期末比25.5%増)となりました。

■ キャッシュ・フロー指標の推移

	27年9月期	28年3月期	28年9月期
自己資本比率(%)	20.8	15.4	9.1
時価ベースの自己資本比率(%)	22.7	26.5	22.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	9,398.0	7,904.1	1,119.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	0.5	0.5	4.7

■ 有利子負債等残高の推移

(単位:百万円)

	27年9月期	28年3月期	28年9月期	増減額
借入金・社債	37,742	33,050	36,398	3,348
リース債務	3,303	2,434	1,542	△ 892
割賦未払金	916	1,662	1,316	△ 345
未経過リース料期末残高相当額(注)	536	633	718	84
合計	42,498	37,781	39,975	2,194

(注)不動産リース取引は除く

V. 平成29年3月期の通期連結業績予想

[短信 サマリー 及び【添付資料】4ページ記載]

■ 平成29年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成28年11月2日の「営業外費用の計上及び平成29年3月期第2四半期連結累計期間業績予想との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました内容に変更はありません。

(単位:百万円)

	28年3月期 実績	29年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	159,707	151,000	△ 8,707	△5.5%
営業利益	△ 771	1,600	2,371	307.4%
経常利益	△ 1,089	△ 1,200	△ 110	△10.1%
当期純利益	△ 7,120	△ 3,300	3,820	53.7%

VI. セグメント別店舗数推移表

27年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コントラクト	増加		24	6	5	2	3	5	45	8	2	1	2	2	2	62
	減少		9	5	4	3	4	3	28	4	6	7	2	6	36	89
	残	1,335	1,350	1,351	1,352	1,351	1,351	1,352	1,352	1,356	1,352	1,346	1,346	1,342	1,308	1,308
ﾁﾝｲﾝﾙ	増加		28	5	7	3	4	2	49	3	5	5			5	67
	減少		2	7	3	3	4	4	23	2	6	3	4		35	73
	残	803	829	827	831	831	831	829	829	830	829	831	827	827	797	797
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減少		0	1	1	15	0	1	18	0	2	0	1	0	0	21
	残	300	300	299	298	283	283	282	282	282	280	280	279	279	279	279
車両管理台数	増加		165	30	30	27	10	22	284	27	29	11	15	13	21	400
	減少		178	21	17	20	18	7	261	32	15	33	5	11	43	400
	残	3,611	3,598	3,607	3,620	3,627	3,619	3,634	3,634	3,629	3,643	3,621	3,631	3,633	3,611	3,611
社会管理人員	増加		1,046	30	27	13	99	130	1,345	51	70	6	22	20	60	1,574
	減少		472	85	37	195	117	57	963	15	16	13	47	19	57	1,130
	残	8,236	8,810	8,755	8,745	8,563	8,545	8,618	8,618	8,654	8,708	8,701	8,676	8,677	8,680	8,680
コンビニエンス中食	残	382			388			383			387				368	

28年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コントラクト	増加		8	7	2	3	1	3	24	2	1	2	4	2	4	39
	減少		3	2	5	3	6	4	23	5	2	7	1	5	30	73
	残	1,308	1,313	1,318	1,315	1,310	1,310	1,309	1,309	1,306	1,305	1,300	1,303	1,300	1,274	1,274
ﾁﾝｲﾝﾙ	増加		31	2	2	5	2	2	42	1	1	2	1	2	2	51
	減少		3	7	7	7	4	4	32	5	4	4	4	0	39	84
	残	797	825	820	815	813	809	807	807	803	800	802	799	801	764	764
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減少		3	0	0	0	1	1	5	0	0	1	1	1	2	10
	残	279	276	276	276	276	275	274	274	274	274	273	272	271	269	269
車両管理台数	増加		115	26	21	18	19	15	214	12	30	10	38	9	10	323
	減少		183	27	33	18	14	20	295	38	18	9	7	10	19	396
	残	3,611	3,543	3,542	3,530	3,530	3,535	3,530	3,530	3,504	3,516	3,517	3,548	3,547	3,538	3,538
社会管理人員	増加		709	38	9	55	33	23	867	12	18	49	6	15	32	999
	減少		572	67	69	31	26	61	826	81	7	16	42	4	28	1,004
	残	8,680	8,817	8,788	8,728	8,752	8,759	8,721	8,721	8,652	8,663	8,696	8,660	8,671	8,675	8,675
コンビニエンス中食	残	368			374			369			369				361	

29年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コントラクト	増加		10	4	4	0	1	7	26							
	減少		6	8	4	3	3	11	35							
	残	1,274	1,278	1,274	1,274	1,271	1,269	1,265	1,265							
ﾁﾝｲﾝﾙ	増加		25	4	8	0	1	4	42							
	減少		2	4	1	3	7	9	26							
	残	764	787	787	794	791	785	780	780							
レストランカラオケ	増加			1				1	1							
	減少			4	3	1	44	24	76							
	残	269	269	266	263	262	218	194	194							
車両管理台数	増加		131	13	25	32	18	24	243							
	減少		95	20	34	24	17	18	208							
	残	3,538	3,574	3,567	3,558	3,566	3,567	3,573	3,573							
社会管理人員	増加		661	14	14	47	53	27	816							
	減少		501	14	3	7	83	97	705							
	残	8,675	8,835	8,835	8,846	8,886	8,856	8,786	8,786							
コンビニエンス中食	残	361			364			362								

VII. レストランカラオケ事業 月次売上・客数推移

27年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)	2,997,480	3,236,367	2,842,429	2,891,107	3,734,033	2,696,540	18,397,956	2,594,899	2,775,631	4,456,555	3,251,381	2,437,678	2,970,258	36,884,357
客数(千人)	2,045	2,198	2,040	2,128	2,570	1,967	12,946	1,798	1,845	2,315	2,039	1,712	2,050	24,706

28年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)	2,476,582	2,707,692	2,320,513	2,507,077	2,985,628	2,288,421	15,285,914	2,195,518	2,254,798	3,793,579	2,718,560	2,005,194	2,464,099	30,717,662
客数(千人)	1,702	1,733	1,542	1,668	1,833	1,529	10,007	1,457	1,407	1,891	1,613	1,351	1,616	19,342

29年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)	2,121,737	2,149,275	1,927,537	2,170,017	2,311,890	1,680,480	12,360,935							
客数(千人)	1,407	1,425	1,348	1,440	1,518	1,135	8,273							

※レストランカラオケ事業にはシダックストラベラーズコミュニティー(持分法適用関連会社)の実績が含まれております。